※令和４年度以降入学生用

学校番号	313

令和5年度　公民科

教科	公民	科目	(学)公共発展	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	高等学校「公共」（教育図書）						
副教材等	クローズアップ公共2022（第一学習社）						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

現代社会における諸問題や社会的事象について、多角的な視点で着目し、自分自身の人間としての生き方について主体的に学び、考える力を養うため、1 年次の公共の発展科目として設定しました。現代社会の諸課題に触れ、実際に体験して得た知識を活用し、グループワークやディベートを通じて、主体的に物事を考え、よりよい社会を実現するための思考・態度を育みましょう。

2 学習の到達目標

人権の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに、自らの人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	学習内容について様々な視点でとらえ、その仕組みや背景について理解し、様々な情報や意見を適切に読み取り、自分自身の人間としての在り方、生き方について、まとめることができる	授業や様々なメディアで得た資料や情報などを、多面的・多角的な視点で考察・選択し、現代社会の諸問題の内容や背景について理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現することができる	現代社会における諸問題を、自分自身の課題としてとらえ、諸問題に関する資料や情報を様々なメディアを通じて集め活用し、得た知識を様々な視点で捉えてまとめ、発表や討論を行い、他者の意見を尊重しながら、自分自身の考えを導き出すことができる
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代社会の諸課題	現実社会の諸課題 ・裁判 ・選挙	a: 法、政治、経済などに関わるシステムの下で活動するために必要な知識・技能を身につける。 b: 法、政治、経済を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現する。 c: よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート パフォーマンス課題 振り返りシート	ワークシート パフォーマンス課題 振り返りシート 観察
2学期	現代社会の諸課題	現実社会の諸課題 ・労働 ・メディア		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート パフォーマンス課題 振り返りシート	ワークシート パフォーマンス課題 振り返りシート 観察
3学期	持続可能な社会へ	持続可能な社会へ ・社会研究の方法 ・SDGs実現のために	a: 他校の実践例を参考にして，社会課題の調査，表現方法，課題解決に向けた協働の方法などについて学習している b: 公共で学習した内容や課題をもとに見方・考え方をはたらかせ，具体的な社会課題を見出し，これを適切に表現している。 c:他校の事例に刺激を受け，社会参画への意欲を持とはじめている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート パフォーマンス課題 振り返りシート	ワークシート パフォーマンス課題 振り返りシート 観察

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度